



キラップ® 粉剤DL

うまい汁は吸わせない！



アカヒゲホソミドリカスミカメ



オオトゲシラホシカメムシ



ミナミアオカメムシ



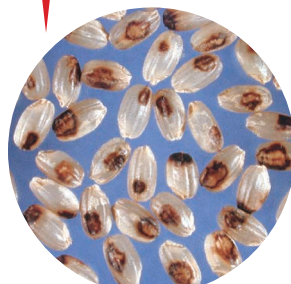
アカスジカスミカメ



イネドロオイムシ



コバネイナゴ



カメムシ吸汁による斑点米

- アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメなどカメムシ類に対して優れた効果を発揮します。
- カメムシ類防除で収穫物(米)の等級に影響する斑点米の発生を抑制します。
- イナゴ類、イネドロオイムシにも高い効果を示します。



製品情報は
こちら



特長

- 最近問題となっているアカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメなどカメムシ類に対して優れた効果を示します。また、イナゴ類・イネドロオイムシにも高い活性を示します。
- 従来の散布剤とは作用性が異なりますので、他剤に感受性の低下した害虫にも効果が期待できます。

適用害虫および使用方法

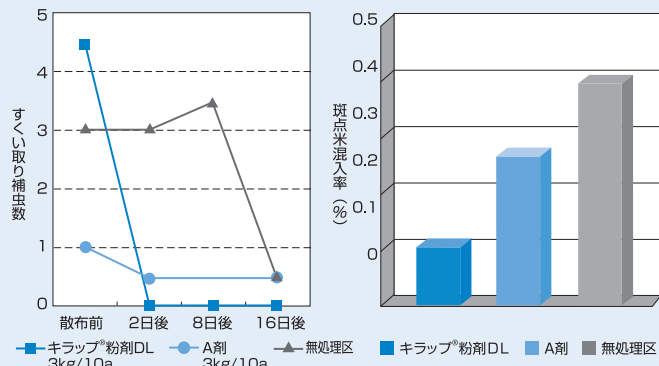
2023年9月現在の登録内容

作物名	適用場所	適用害虫	使用量	使用時期	本剤の使用回数	エチプロールを含む農薬の総使用回数	使用方法
稲	—	ウンカ類 カメムシ類 イネドロオイムシ イナゴ類	3～4kg / 10a	収穫14日前まで	2回以内	2回以内 (は種時(直播)または移植までの処理は1回以内)	散布
だいず			3kg / 10a	収穫7日前まで			
水田作物 畑作物 (休耕田)		カメムシ類	4kg / 10a	—			
	ヨシ、オギ、ススキ、 セイトカアワダチソウ等の多年生雑草が 優占している休耕田					2回以内	

上手な使い方

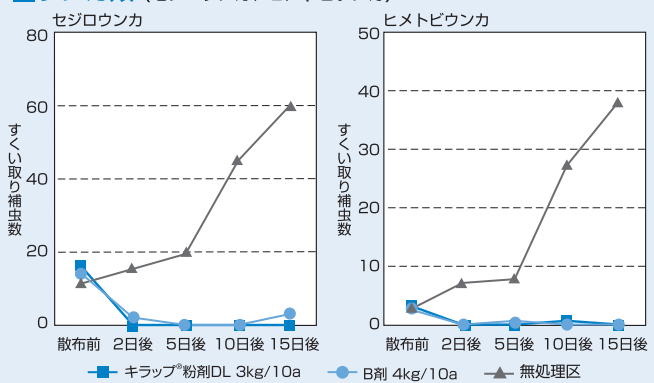
- アカヒゲホソミドリカスミカメに対しては、出穂の7～10日後およびその7～10日後が散布時期です。（各地で推奨されている散布時期に従ってご使用ください。）

■カメムシ類（アカヒゲホソミドリカスミカメ）平成11年 秋田県農業試験場



発生状況：少 品種：あきたこまち
移 植：5月27日 出穂：8月3日
散布月日：8月11日（乳熟期）
調 査：散布前、散布2、8、16日後に20回振りすくい取りによる捕虫数
斑点米混入率：9月17日に刈り取った穂の斑点米数から混入率を算出

■ウンカ類（セジロウンカ、ヒメトビウンカ）平成11年（公社）石川県植物防疫協会



発生状況：少 品種：ほほほの穂
移 植：5月2日
散布月日：7月29日
調 査：散布前、散布2、5、10、15日後に25回振りすくい取りによる捕虫数

注意事項

- 本剤はできるだけ飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ見かけ比重がやや大きく流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を1目盛程度しぼって散布して下さい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。桑にかかった場合には7日以上経過してから給桑して下さい。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意して下さい。
 - ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにして下さい。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
- 空袋は園場などに放置せず適切に処理して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗して下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropsience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00, 13:00～17:00
土日祝日および会社休日を除く

F-1086 23.09.NY